



市民の命と健康を守る拠点 蕨市立病院の建替えへ

市長 頼高 英雄

市立病院は、地域の中核病院として、救急医療を担い、市内で唯一出産できる施設であるなど、市民の命と健康を守る中心的な存在です。私が市長に就任した当時は赤字経営でしたが、経営改革により黒字化するなど安定化することができました。また、コロナ禍においても、発熱外来や入院患者受入れなど、非常に重要な役割を担ってきました。

した施設は、耐震化や老朽化が大きな課題となっていたことから、この間、検討委員会で、病院整備の方向性について検討が進められてきました。この報告書が提出されました。そこで、市長として市立病院の建替えを決断し、これまでの財政健全化の成果を生かして、病院建設基金をつくり、10億円を積み立てる議案を今議会に提出しました。今後、建替えの手法を早急に決定していきますが、少子高齢化が進む中で、市民の命と健康を守る拠点である市立病院の存在は蕨の大きな強みであり、新病院建設で、未来に希望がもてる蕨の更なる飛躍に向けて、全力を尽くしていきます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は9日です。4月は6日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。